

PRESS RELEASE

2009年10月13日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」のコンプライアンス機能を強化

-- SaaS型Webゲートウェイサービスとして初のユーザ単位でのアクセス制御を実現--

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、Web 経由での情報漏えいやウイルス感染などを防ぐ SaaS 型の Web セキュリティ対策サービス「IIJ セキュア Web ゲートウェイサービス」に、お客様社内の認証サーバとの連携を実現する「認証サーバ連携オプション」を追加し、本日より受注を開始いたします。

「認証サーバ連携オプション」は、大手法人を中心に多くの企業が採用している ActiveDirectory によるユーザアカウントの管理と「IIJ セキュア Web ゲートウェイサービス」を連携させることで、Web サイトへのアクセス制御ポリシーやログ管理の一元化を実現します。これにより、システム管理者は現在利用中のアカウント管理のシステムやフローをそのまま利用して、より強固なセキュリティ確保と運用負荷の軽減が可能となります。

本オプションの主な特長は以下の通りです。

- アカウント管理の一元化
アカウントの追加や変更に関する管理業務を、お客様がご利用中の ActiveDirectory に一元化することが可能です。また、ActiveDirectory 上でのパスワード変更と同期させることで運用負荷を軽減します。
- ユーザ単位でのアクセス制御
ActiveDirectory と連携することで、DHCP^(*)環境でもユーザを個別に識別することが可能になり、ユーザ単位で HTTP/HTTPS のアクセスを制御することが可能です。また、アクセスを許可する URL フィルタのグループ設定もユーザごとに設定可能で、きめ細かな制御を実現します。
- ユーザ単位でのアクセスの把握・追跡
ユーザごとのアクセス先や転送量を月次レポートで提供します。また、情報漏えい等のセキュリティ事故発生時には、ユーザごとの詳細な利用状況を追跡でき、コンプライアンスの強化を実現します。

企業における Web の活用が大きく進む中で、情報セキュリティと業務効率化の観点から、Web アクセスをきっかけとしたマルウェアの感染、情報漏えい、私的利用による業務効率の低下などへの対処が課題となっています。

本オプションの提供により、「IIJ セキュア Web ゲートウェイサービス」は SaaS 型の Web セキュリティ対策サービスとしては業界ではじめて、煩雑な端末側での設定を行わずに、ユーザ単位でのアクセス制御を可能とし、高度な Web アクセスのセキュリティ対策と、運用負荷軽減を同時に実現しました。

IIJ は、今後も企業のインターネット活用に必須となったセキュリティ対策のアウトソーシングサービスを積極的に展開し、安心して安全なインターネット環境を実現してまいります。

■IIJ セキュア Web ゲートウェイサービス 認証サーバ連携オプションの概要

【提供方式】

NTLM 認証および Basic 認証に対応。(今後、その他認証方式にも対応予定)

【レポートニング】

月次報告書に下記の項目を追加してご提供いたします。

- ユーザ別アクセス割合
上位 10 ユーザ^(*)とその他のユーザのアクセス状況について、比率表示円グラフおよび一覧表を提供
- ユーザ別アクセス状況
上位 30 ユーザ^(*)とその他について、ユーザ名、アクセス数、アクセス割合、リクエスト量、レスポンス量の集計表を提供

(*1) DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol): 端末(PC)がネットワークに接続するために必要な IP アドレスや DNS 等の情報を自動設定するプロトコル。端末の個別設定が不要で運用が容易であるため、多くの LAN 環境で利用されている。一方で、端末の IP アドレスが都度変わるため、Web アクセス等のログの追跡で個人の特定が難しい等の課題が存在した。

(*2) 万一の際のログ解析では、月次報告書で掲載した上位利用者以外も追跡が可能です。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 南郷、川上

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>